

# S CRETE CRACK METHOD

## Sクリートクラック工法(クラック注入・表面被覆工法)

止水、エフロ抑制などの優れた改質効果



## 製品概要/施工手順書

### 目次

摘要条件	.....P1
概要	.....P1
施工フロー	.....P1
特長	.....P1
施工例	.....表紙,P2
材料組み合わせ表	.....P2

# S CRETE CRACK METHOD

## Sクリートクラック工法(クラック注入・表面被覆工法)

止水、エフロ抑制などの優れた改質効果

## Sクリートクラック工法(クラック注入・表面被覆工法)

### 摘要条件

・注入、左官工法、吹付け工法など

### 概要

Sクリートクラック工法は、超微粒子セメント+無機顔料(黒色)と、特殊専用樹脂(特殊ポリマーエマルジョン)で構成されたクラック充填材およびコンクリート素地の表面被覆材です。

コンクリート構造物の維持・補修においてクラック進行拡大抑制と剥離防止、美装を兼ねる効果があります。

コンクリートとの接着性が高いSクリートアップをベースに用いることで、仕上げ層とひび割れ箇所の既設コンクリートとの一体化性が向上し、プラスチック乾燥収縮ひび割れや剥離・剥落を予防できます。ひび割れ部分に起因するコンクリート構造物内部の遊離石灰抑制や漏水止水においても長期的な再発防止効果を発揮する工法です。

Sクリートアップは1液性で塗布前後の低圧散水が不要であることが施工性向上の最大のメリットです。従来品の珪酸塩系含侵材ですと必ず低圧散水を数回行う必要がありました。

### 施工フロー

- ① 準備
  - ・温度確認 5°C以上45°C以下
  - ・塗布対象面以外の周辺ガラス・アルミ・化粧タイルなどを養生。
- ② 下地処理・清掃・洗浄
  - ・塗布面に顕著な汚れがある場合には高圧洗浄またはケレン等で除去。  
※洗浄に際して酸性洗剤を使用した場合には、必ず中和処理を行ってください。
- ③ Sクリートアップ注入・塗布
  - ・ローラー、刷毛、スプレーなどを用い、塗装面全面にSクリートアップを塗布。特にクラック箇所は重点的にSクリートアップを注入充填・塗布してください。  
塗布量の目安は200cc-250cc/m<sup>2</sup>
- ④ 養生
  - ・Sクリートアップ塗布後は自然養生を原則とするが、環境によっては加温養生を行ってください。
- ⑤ 注入・被覆材配合
  - ・材料の配合を行う。
    - クラック注入配合 パウダーA(超微粒子セメント)1kg:特殊専用樹脂B(半液状)200g:水800cc前後:無機黒顔料20gの割合でミキサーにて混合
    - 表面被覆配合 パウダーA(超微粒子セメント)4kg:特殊専用樹脂B(半液状)2kg:水2.5ℓ前後:無機黒顔料50gの割合でミキサーにて混合
  - ※Sクリートクラック塗布前に色調整を行ってください。色が薄い場合には顔料を適宜増量してください。
- ⑥ 注入・被覆材塗装
  - ・クラック注入は注射器を使用するか、もしくはゴムベラ等で摺り込むように注入してください(2回以上注入)。
  - ・表面被覆の場合にはローラーもしくは金ゴテにて塗布してください。  
Sクリートクラック塗布後に、SクリートアップまたはSクリートガード\*を全面塗布することで構造物の保護効果がさらに高まります。  
\*外部補修の際はSクリートガードを塗布してください。ただし、ひび割れ箇所より著しい水の流出が見られる場合は施工不可。

### 特長

#### Sクリートクラック工法(クラック注入・表面被覆工法)の特長

- ・ひび割れ追従性に優れたSクリートアップを下地コンクリートに塗布することにより、クラックの進行拡大抑制や再発防止に効果的です。
- ・アルカリ骨材反応や凍結融解による劣化、白華(エフロ)現象の防止および再発防止として極めて有効な工法です。
- ・Sクリートクラックに含まれるフライアッシュセメントにより遮塩性が高まるため、沿岸地域や埋立地など塩化物イオン濃度の高い環境での施工にも適しています。
- ・Sクリートクラックは超微粒子成分のため、既設のコンクリートとの親和性が高く、表面に生じたひび割れや色ムラをしっかりとカバーします。
- ・Sクリートクラック用特殊専用樹脂は調合済の液状タイプのため、現場での配合作業も簡単にスムーズに行えます。
- ・膨張、収縮、熱応力の少ない硬化体および塗装面を形成します。耐候性や耐久性にすぐれ、安全性にもすぐれた環境に優しい材料を用いた工法です。

# S CRETE CRACK METHOD

## Sクリートクラック工法 (クラック注入・表面被覆工法)

止水、エフロ抑制などの優れた改質効果

### 施工例



マンションの外階段。ひび割れが多数見られるためSクリートクラック工法(表面被覆)による補修を実施。

ひび割れの存在はコンクリートの中酸化の進行を促進し、内部への劣化原因物質(水や二酸化炭素、塩化物イオンなど)の進入を容易にし、建物全体の劣化を早める。

Sクリートクラック工法により、コンクリート躯体表面の美装と同時に、構造物自体の延命処置が可能となる。

施工前

施工後

\*Sクリートクラック(表面被覆工法)を施工した後、Sクリートガードを全面に塗布。

### 材料組み合わせ表

		作業環境: 5°C以上、45°C以下	標準配合	
下塗り		Sクリートアップ [荷姿: 4ℓ : 18ℓ / 缶]	クラック注入配合	表面被覆配合
Sクリートクラック  ミキサーで攪拌		パウダーA: 粉体 (超微粒子セメント) [荷姿: 1Kg : 4Kg]	1kg	4kg
		+	状況に応じて調整してください	
		特殊専用樹脂B: 半液状(特殊ポリマーエマルジョン) [荷姿: 200g : 2Kg]	200g	2kg
		+		
		水 (清水)	800cc 前後	2.5ℓ 前後
		+		
		無機黒顔料 (必要に応じて添加。入れ過ぎ注意!)	少量	少量
		※外部の場合は、Sクリートクラック工法を施工の後、Sクリートガードを塗布してください	注射器もしくはゴムペラ等で摺り込むように注入する(2回以上注入する)	ローラーまたは金ゴテで塗布

### 荷 姿

- クラック注入工法: パウダーA 1Kg、専用樹脂B 200g、Sクリートアップ 1ℓ、無機黒顔料 20g / ペール缶
- 表面被覆工法: パウダーA 4Kg、専用樹脂B 2Kg、無機黒顔料 50g / ペール缶

### 塗布量

下塗り	Sクリートアップ	4~5㎡ / ℓ (200~250cc/㎡)
Sクリートクラック 表面被覆工法		0.15Kg / ㎡ (配合比率・配合量は上記のとおり)

※上記の使用量はあくまでも目安です。施工実施前に試験施工を行い、必要な使用量をご確認ください。

# コンクリート補修関連製品

## Sクリートガード シラン・シロキサン系浸透性超撥水防水材

超撥水力がコンクリートやタイル目地を強固に守ります。

再施工の際には防水膜などを除去せず、再塗布が可能で、施工性に優れています。

Sクリートガード建築用はナノ粒子のシラン・シロキサンを主成分とした高機能な超撥水材です。

塗布後素早く浸透して、コンクリートやモルタルの表層に超撥水層を形成します。同時に、内部に深く浸透して空隙を充填し、緻密な吸水防止層を形成します。耐候性にも優れ、長期間に渡って塗布面を保護します。

NETIS 国土交通省新技術提供システム)

登録番号：KT-160122-A 新技術名称：Sクリート工法



施工状況



超撥水状況



塗布

未塗布

顕著な防汚効果

## Sクリートアップ 浸透性珪酸塩系改質材

浸透性珪酸塩系改質材で従来製品と異なり、低圧散水が不要です。低圧散水が不要のため有効成分を洗い流すこともなく、効果が均一に発揮されます。

Sクリートクラック工法(クラック・被覆工法)と併用すると止水などの効果が期待できます。

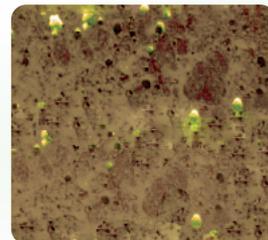
Sクリートアップの特長は次のとおりです。

- ①劣化コンクリートの改質強化・緻密化、②塗膜の付着向上用のプライマーとしても最適、③ALCの防水、④クラック抑制、⑤素地によっては50mm以上浸透します。
- ⑥中性化したコンクリートをアルカリ性改善します。



電子顕微鏡観察画像

施工前は毛細管と隙間だらけ



施工後60日目の画像

毛細管と隙間が埋まり、同時にコンクリートもしっかりと呼吸

NETIS 国土交通省新技術提供システム)

登録番号：KT-160122-A 新技術名称：Sクリート工法

## Sクリートカラー

コンクリート打ち放しの色合わせと

劣化したコンクリートのリフレッシュに最適なコンクリート保護工法

Sクリートカラー(シラン・シロキサン系無機ペイント)はコンクリート打ち放し向けの半透明色調整材です。

耐候性・退色性・施工性に優れ、コンクリート打ち放しの風合いを損なわず、補修跡などの色違いを自然な風合いで色調整できます。



施工前



施工後

製造販売元

(株)バークス環境

〒152-0004

東京都目黒区鷹番3-14-13 パステルハイム302

TEL. 03-5794-3933 FAX. 03-5794-3934

email: bircs@bircs-kankyo.com

WEB bircs-kankyo.com

お問い合わせは下記販売代理店まで